

2024年度

【 予算要望書 】

いのちと人権を最優先し、誰も取りこぼさない、そして自由な社会を実現するため、真摯なる受け止めと反映をしていただけますようどうぞよろしくお願いいたします。

2023年11月2日（木）

れいわ新選組 新宿 さわいめぐみ

要望の基本的な指針

- ✔積極的に財源を活用し、税収増分を市民へ還元し、格差を是正すること
- ✔区民の声を聞きともに歩む自治の区政を行うこと
- ✔次世代に対してできるだけ安全で豊かな自然環境を残していくこと

【背景と主張】

現在日本は、先進国の中で唯一30年に渡り不況が続き、上がらない賃金、コロナ禍、物価高や光熱費高騰、年々広がり続ける格差と貧困の問題を抱えています。市民からお預かりしている財源をしっかりと還元し、格差是正と景気の復活、少子化と人材確保の課題解決に取り組んでください。

今や気候変動と環境保全の対策は待ったなしの喫緊の課題であり、自治体の受け止めと取り組みはますます重要です。区民のいのちと財産を守る区政を第一に、次世代が安心して暮らすことのできる水や空気、土地や食の整備を推進してください。

新宿御苑の放射能汚染土 実証事業の見直し

- ✔ 広く長期的な視野に立ち、実証事業の安全性について利害関係のない第三者機関の調査に基づいた判断を行うこと
- ✔ 事業について広く知らせ、市民の納得がいくまで対話を行うこと
- ✔ 次世代に対してできるだけ安全で豊かな自然環境、健康に暮らせる大地を残していくこと

【背景と主張】

安全性はあらゆる角度から検証されるべきものであるにも関わらず、空間線量といういち部分を取り出して安全だなどというのは欺瞞です。放射能汚染の影響がもたらす被害は我々大人以上に子どもたちにとって深刻であり、被爆リスクに閾値は存在しません。国土と国民の弱体化を招く放射能汚染の拡散を許容すべきではありません。

今や原子力発電は最もコストがかかり、世界中で自然エネルギーへのシフトが進んでいます。来るべき大地震への備えや安全保障を訴えながら原発を再稼働、許容することには大きな矛盾があります。

この実証事業を実施するべきではない根拠を、市民とともに地方自治体からしっかりと声をあげ国に訴えていくべきです。

神宮外苑の再開発と樹木の伐採の見直し

- ✓ 神宮外苑の再開発と樹木の伐採について区民との対話の場を設けること
- ✓ 再開発の内容と樹木の伐採が真に公共の利益に叶っているかしっかりと検証を行い、どの選択肢が長い目で見て本当に価値あるものとなるのか、区としての判断を行うこと
- ✓ 次世代に対してできるだけ安全で豊かな自然環境を残していくこと
- ✓ まちづくりに市民の意見を反映させる制度を設けること

【背景と主張】

神宮外苑は都市部の重要な自然と水脈拠点の一つです。もともとが国有地であり、公共空間として維持管理するという約束で市場価格の半額で払い下げられた経緯を持ちます。神宮球場、秩父宮ラグビー場、テニスコート含め歴史的価値も高く長く人々に愛されて来ました。

現代社会では、私企業の一時的な利益ばかりを優先し、公共を破壊するこのような再開発の在り方そのものがすでに多くの市民にとって受け入れ難くなっています。地方自治体がこれら市民の声をいかに行政に反映させるべきなのかを検討するべきです。

断熱、省エネ、再エネの取り組みの実行

- ✔ 各種助成金を活用、区内事業者とも連携した取り組みの実行
- ✔ 学校や公共施設、公営住宅への導入
- ✔ 気候変動問題について市民とともに考える市民会議の設置と啓蒙
- ✔ 日常運用に実際に耐えられる高性能な設備の導入

【背景と主張】

30年に及ぶ不況の中で、コロナ禍、ウクライナ戦争が起こり、日本は現在、物価高、光熱費の高騰に喘いでいます。エネルギー資源、食料、原材料と、さまざまなものを輸入に頼る日本は都度、世界情勢によって物価や生活に影響を受けることがますます顕著になりました。

また他方では気候変動による環境の変化が急速に進み、ひとの生死に関わる問題となっています。この人々の生活に密接に影響を与える経済と環境、2つの課題は、冷静に将来を見据えて今、着実に対策を実行していかなければなりません。

一刻も早く断熱、省エネ、再エネ化の取り組みを推進すべきです。
将来世代に渡って健康に安心して暮らせる社会を実現できる価値ある投資です。

教員の増員、育成の大胆な取り組み

- ✔ 教員不足を補う大胆な制度設計
- ✔ 更なる働き方改革の推進と待遇改善
- ✔ スペシャリストの育成

【背景と主張】

従来からの日本の教育制度が行き詰まっています。不登校の児童生徒が増え、学校の教育現場は疲弊、家庭でも貧困や虐待の問題を抱える家庭が増えている状況です。まずは教員の増員、育成、そのための人材確保を行うべきです。

奨学金問題に苦しむ学生への支援

- ✓ 区独自の給付型奨学金制度の設置
- ✓ 奨学金返済に苦しむ学生向けの相談窓口（オンライン含む）の設置
- ✓ 利息なしのローンへの借り換え支援制度の設置
- ✓ 地方自治体と子どもたちとの相談しやすい関係性づくり

【背景と主張】

子どもの貧困は連鎖して起こり、若者が社会に希望を持ってない状況が続いています。これからの日本を背負う若年世代を金融商品化し、自死に追い込むような政策は正していかなくてはなりません。親ガチャとも揶揄される現代社会の格差を是正し、誰もが生き生きと生きられるよう制度設計を行う必要があります。

東京都の管轄であるというような縦割り行政を見直し、根本的な問題課題解決に則って東京都や各関連部署とも情報交換、連携していくことを要望します。

インクルーシブ教育と障がい者の自立支援

- ✔️ どんな障害があっても、医療的ケアが必要であっても、分け隔てられることなく地域の普通学級とともに育ちともに学びともに生きる社会の実現
- ✔️ 電動車椅子の介助者用の設備助成など
- ✔️ 安心して歳を重ねることができる社会の醸成

【背景と主張】

日本では分離教育が基本となり、長らく互いが出会う機会を奪われ続けてきました。人権や合理的配慮を体感として学ばないまま大人になる状況を打開していかなければなりません。

また今回は障がいを持つお子さんの親御さんから直接の申し入れがされました。当事者が声を上げることをエンパワーメントし、耳を傾け、区政に反映させることを要望いたします。

歳を取ればほとんどの人が障がい者になります。また障がいを持つお子さんらの高齢化も課題です。誰もが安心して歳を重ねていくことができる社会の醸成が望まれます。

給食無償化の早期実現と質の向上

- ✓ 給食無償化の早期実現で子どもたちを支援
- ✓ 減農薬、オーガニック食材の導入等、給食サービスの質の向上
- ✓ 地産地消の実現に向け近隣農地との連携

【背景と主張】

子どもの貧困の状況に対して、一刻も早く給食サービスが受けられるよう早期実現を目指すべきです。子どもたちが安心して健康に育つことができるよう給食の質の向上を図るとともに、日本における食の安全と連帯し地域農業と連携する施策の実施を求めます。私たちは食べたものでできており、食は予算云々で語られるべきではないのちと教育に直結する重要なテーマです。

新宿区は食の自給率0%であり、近隣地区との協力関係が必要となります。

児童相談所での子どもの人権保護強化対策

- ✓ 一時保護が適切かどうかを判断する第3者（弁護士等）の設置
- ✓ 子どもの意見表明の権利の保障
- ✓ 子どもと親の精神的ケアを継続して行うサポート体制の強化
- ✓ 各種スペシャリストの採用と育成

【背景と主張】

現在、東京都が運営する児童相談所について、区民の方や当事者の方より様々、疑義があるとのご意見、苦情を承っています。

児童相談所が、施設によって偏りがあったり、子どもの人権を奪うものであってはなりません。虐待児童の保護を担う介入部門と、児童の支援を行う支援部門の明確な機能分化を行い、支援枠における専門職（児童福祉司や児童心理司など）の体制強化を要望します。

可能なケースにおいては、保護者と子どもの関係性修復、家庭復帰後の継続的な支援が必要です。

都立高校入試 ESAT-Jの活用見直しの提言

- ✔ 同一問題の前半後半受験の実施の見直し等、東京都に対する改善要求
- ✔ 公平な試験の仕組みへの改善
- ✔ 授業での英語スピーキング学習の充実

【背景と主張】

東京都で導入されたESAT-Jの試験方式は、同一教室内で回答が聞こえる、前半後半それぞれの受験生の接触がある、採点方式の不公平さ、受験なしの生徒の存在 等、様々な問題を孕んだまま実施されています。高校受験は子どもたちにとって大きな節目となる出来事であり、社会に出る前にこのような不透明で不公平な試験を、行政主導で行うべきではありません。

現在のテスト方式への問題提起、改善要求の声を東京都へ上げてください。

スピーキング能力については学校の授業でしっかりと充実した内容を提供した上で当事者が納得できる公平な試験を行うべきです。今後は少人数学級へのシフトが望ましいと考えます。

マイナカード及び保険証一体化の見直し

- ✓ 現行の保険証の存続
- ✓ マイナ保険証の利用率などの実態調査
- ✓ カードの安全管理については自己責任であることのしっかりとした説明

【背景と主張】

マイナンバーカードについてさまざまな問題が取り沙汰され、制度設計の粗雑さが明らかになっています。マイナ保険証の利用率は現在わずか4.54%です。（2023年9月時点）不況の最中、市民の経済的負担が増すばかりのこのタイミングで、マイナポイントを含め多額の国家資金を投入しました。市民は自覚なく多くのリスクを背負わされ、保険証という重要サービスにおいてかえって不便になるということの実態は、地方自治体としてもしっかりと検証し、その責任を問わなければなりません。

健康保険料負担の軽減

- ☑ 人々の生活を圧迫する健康保険料の負担の軽減
- ☑ 人々を病気にさせない環境づくり、水・空気・土と食の安全性を守る取り組みの推進

【背景と主張】

税金、社会保険料負担率が5割を超えている一方で、国や区は年々税収増を記録しています。格差が広がり、多くの加入者の収入は上がらないまま負担だけが増え、生活を圧迫しています。

人々が健康に暮らし続けることができる自然環境と食の安全の取り組みは今後ますます重要な課題となります。

コロナワクチンやコロナ後遺症への支援

- ✓ 後遺症など体調不良についての相談窓口の拡充と支援
- ✓ コロナワクチンのリスクについて、事前のしっかりとした説明
- ✓ コロナワクチンやコロナについての実態調査

【背景と主張】

コロナワクチンやコロナの後遺症で苦しむ方が多くいらっしゃいます。世界的なパンデミックの広がりにより、コロナワクチンは通常のワクチン開発にかけられる時間より圧倒的短時間で開発、認可、リリースがなされ、日本においては国をあげてワクチン接種が推奨されています。

ワクチン接種についてはいかなる職種においても個人の自由が認められて然るべきであり、接種をしないことで損害を被ることは回避されなければなりません。また接種のリスクの説明は事前にしっかりとされる必要があり、後遺症による体調不良については当然支援を行うべきです。

介護人材の待遇改善、確保と育成

- ✔ 大胆な待遇改善
- ✔ ケアワーカーへの精神的な支援の拡充
- ✔ サービス提供者と受益者双方のハラスメント防止対策

【背景と主張】

介護人材の不足は確実に訪れる危機的な状況にも関わらず抜本的な対策が取られていない状況です。まずは待遇改善に取り組み、働きやすい職場づくりを地方自治体としても支援していくべきです。

後期高齢者医療保険料の負担軽減

✓ 後期高齢者医療保険料の減免措置

✓ 実態把握と格差是正の施策

【背景と主張】

団塊世代が後期高齢者入りする目前の課題に対して、取りこぼされる人々がないように実態の把握と対策が必要です。